**柔道整復実技審査 個人票〔評価1-1,2〕**　　**（様式3-1）**

|  |  |
| --- | --- |
| 養成施設名 |  |
| 受審番号 |  | 受審者名 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 実技項目 | **①～⑦　診察及び整復・⑧～⑯　診察及び検査の能力** |
| ① 鎖骨定型的骨折 | ⑧ 肩腱板損傷 |
| ② 上腕骨外科頸外転型骨折 | ⑨ 上腕二頭筋長頭腱損傷 |
| ③ コーレス骨折 | ⑩ ハムストリングス損傷（肉ばなれ） |
| ④ 肩鎖関節上方脱臼 | ⑪ 大腿四頭筋打撲 |
| ⑤ 肩関節前方烏口下脱臼 | ⑫ 膝関節側副靭帯損傷 |
| ⑥ 肘関節後方脱臼 | ⑬ 膝関節十字靭帯損傷 |
| ⑦ 肘内障 | ⑭ 膝関節半月板損傷 |
|  | ⑮ 下腿三頭筋損傷（肉ばなれ） |
|  | ⑯ 足関節外側靭帯損傷 |
| 　　　出題した問題番号を記入して下さい　：　　　　　　 |

|  |  |
| --- | --- |
| **評価1-1　①～⑦ 診察及び整復** | **評価1-1　⑧～⑯ 診察及び検査** |
| すべてチェック（できた：○　できない：×、評価できない：－) |
| １）患者の誘導が適切である |  | １）患者の誘導が適切である |  |
| ２）全身状態の観察が適切である |  | ２）全身状態の観察が適切である |  |
| ３）患肢と損傷部位の状態把握が適切である |  | ３）患肢と損傷部位の状態把握が適切である |  |
| ４）助手への指示が適切である |  | ４）検査の準備が適切である |  |
| ５）受審者の整復準備が適切である |  | ５）一つ目の検査手順が適切である |  |
| ６）整復の手順が適切である |  | ６）二つ目の検査手順が適切である |  |
| ７）整復後の確認が適切である |  | ７）検査後の確認が適切である |  |
| 採　　　点 |  | 点 | 採　　　点 |  | 点 |
| 所要時間 |  | 分 |  | 　秒 | 所要時間 |  | 分 |  | 　秒 |

|  |
| --- |
| **評価2　口述の能力**（１題出題し、正解:○　間違い:× 評価できない：－）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　注意．国家試験必修問題レベルの出題をして下さい。 |
| １）発生機序の説明ができる |  | ６）その他の整復・固定・検査法の説明ができる |  |
| ２）転位の説明ができる |  | ７）整復(検査)又は固定の注意点を説明できる |  |
| ３）鑑別に関する説明ができる |  | ８）固定期間の説明ができる |  |
| ４）症状又は所見の説明ができる |  | ９）指導管理の説明ができる |  |
| ５）合併症の説明ができる |  | 10）予後の説明ができる |  |
| 採　　　点 |  | 点 |

|  |  |
| --- | --- |
| コメント（評価1-1の採点が4点以下のときは、詳細な理由を記載すること） | 評価1-1、評価2の合計 |
|  |  | 点 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 審査員氏名 |  |  |  | 審査実施日 | 令和　　年　　月　　日 |
|  |

公益財団法人 柔道整復研修試験財団